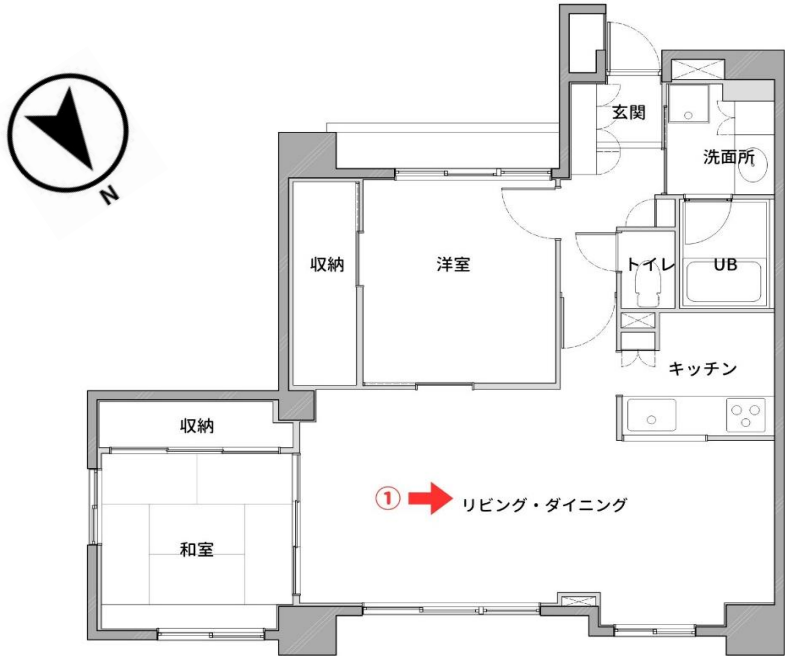
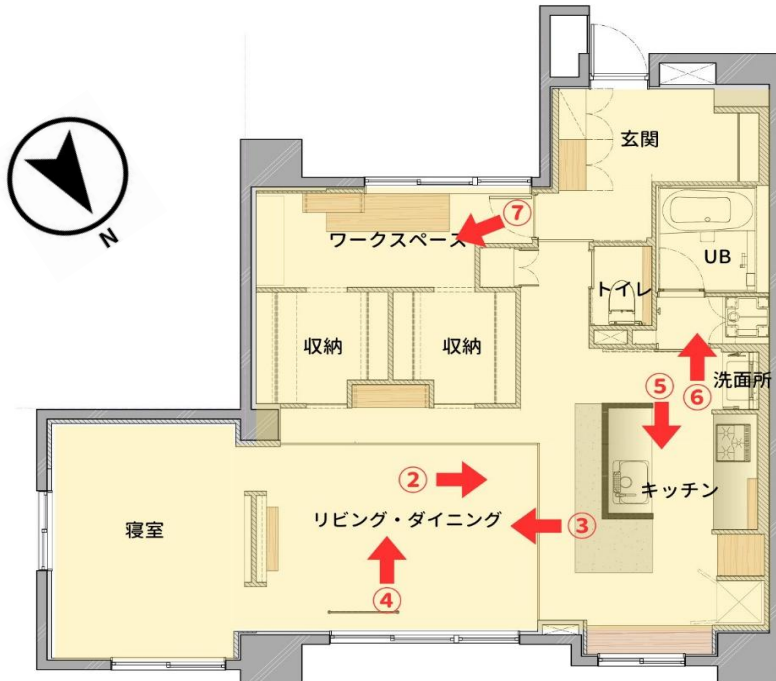


タイトル					応募部門：下記より ひとつ を選んで●を入れてください																				
「 抜け 」から生まれるリズムと繋がり					☐ 戸建て全面 ☐ キッチン ☐ 外まわり					☒ マンション全面 ☐ サニタリー ☐ 玄関・ホール					☐ リビングダイニング ☐ 個室										
基本情報																									
邸名			I様邸			築年数		21 年		構造		RC		造		13		階建							
該当部分工事費				万円		総工事費		1,300		万円		建築確認申請の有無			☐ 有			☒ 無							
増築面積				㎡		減築面積				㎡		居住者		15歳未満				人		15歳以上65歳未満		2		人	
改装面積		76		㎡		※増築・減築の面積を除く					構成		65歳以上				人		ペット						
建物の履歴（自宅、中古購入、空き家活用などの情報）					☐ 施主の居宅					年居住					☒ 空き家または中古住宅の活用										
所在地			都道府県			東京都			市町村			台東区			完成年月日			2024年4月29日							
施主様ご要望：リフォームの動機(140字程度で)																									
以前から住まいづくりに憧れがあったご夫婦。各々の居場所がありながらもお互いの存在を感じられるよう、なるべく仕切りを作らないワンルームのような住まいをご希望だった。全体が緩やかに繋がりながらもワンルームほど抜けすぎていない“仕切り”と“抜け”が調和した心地よい住まいを目指した。																									
プラン決定のポイントと工夫(140字程度で)																									
設計・施工の工夫点、住宅価値を向上させた内容など リビング・ダイニングに繋がる寝室、ウォークスルークローゼットと、その先にあるご主人のワークスペースとの間に扉は設けず、心地よい風の通り道を作った。キッチンなどの水まわりは、色や床の素材でゾーニングし、壁に空間の抜けを作ることによって、どこを見ても奥行きが感じられる心地よい住まいになった。																									
施主様ご感想：満足度など(140字程度で)																									
空間に抜けを作って視覚的にゾーニングをしたことで、以前よりもどこで何をするのか、どこに何を置くのかが明確になりました。そのおかげで生活のリズムが整った感じがします。生活動線が曖昧になりがちなワンルームではなく、窮屈に空間を仕切るのでもない、緩やかに繋がる感じが心地よいです。																									
性能向上の特性（複数選択可）																									
☐ 劣化対策 ☐ 耐震性 ☐ 維持管理 ☐ 可変性 ☒ 省エネ ☐ バリアフリー																									
選択した性能向上の特性で特に配慮した点(50字程度で)																									
扉は極力設けず風の通り道を作ることによってエアコンの使用頻度を抑制し、収納内部の湿気対策にもなっています。																									
性能向上で、準拠・参考にした数値（性能表示の等級など）																									
（※わかれれば改修前の性能数値と改修後の性能数値を記入）																									
																									



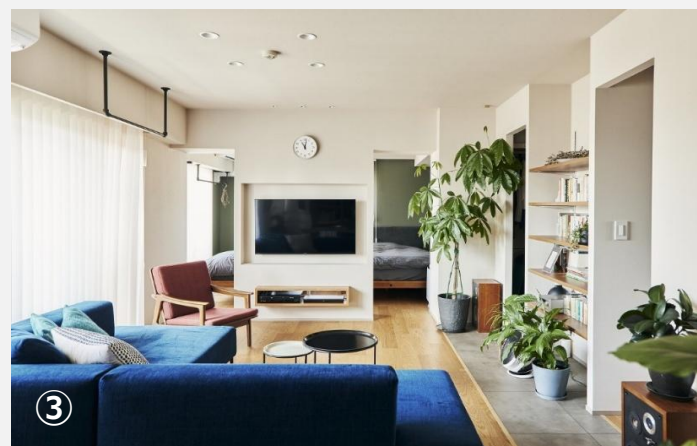
Before

各部屋には当たり前に扉があり、キッチンにはセミクローズドタイプ。日当たりはいいが日中でも照明が必須だった。



2

↑② ダイニングテーブルも一体型のオープンキッチンに。
床はフロアタイルで緩やかにゾーニング。



③

↑② 寝室は扉をつけない代わりに中心に壁を設け、TVの設置や関連機器の収納を叶えた。



4

↑④ 左右対称な開口の先はウォークスルーコーナーゼット。夫婦で収納を分けているので使いやすい。



⑤



⑥

↑⑤⑥ キッチンから一直線上にあるサニタリー。コンパクトな
脱衣所だが、基本は扉を開けて使用するので狭さを感じないそう。



↑⑦ クローゼットを抜けるとご主人のワークスペース。リビングダイニング→クローゼット→ワークスペースと心地よい風が一直線に抜ける。